

目指す学校像	○昨日よりも今日、少しでも成長させられる学校 ○保護者や地域と連携し、コミュニティの中核となる学校 ○安心・安全できれいな学校
--------	--

重点目標	1 学習指導の工夫改善・充実 豊かな心を育む教育の推進 <学力向上> 2 安心・安全できれいな教育環境の整備 <安心安全> 3 開かれた学校づくりの実現 <開かれた学校づくり> 4 校内研修の充実 <教職員の資質向上>
------	--

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学 校 自 己 評 価							学校運営協議会による評価		
年 度 目 標					年 度 評 価			実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	(現状) ○自校テストでは、漢字、計算ともに習得率は80%以上であった。 ○令和3年度全国学力・学習状況調査(算数)「思考力・判断力・表現力」で平成31年度(数学的な考え)より自校の平均正答率が約5pt向上した。 (課題) ○市学習状況調査における「算数の勉強は好きですか」の肯定的な回答の割合が、令和2年度の値を上回らなかった。	・基礎学力の向上 ・学びの自立化に向けた情報端末の活用、授業改善 ・特別活動の充実	①年度当初に自主学習の取り組み方について児童・保護者へ周知し、家庭学習の習慣化を図る。 ②ドリル学習やスタディサプリなどの学習の取組を通して、基礎学力の向上を図る。 ①タブレットの活用を推進するとともに、学習ログを活用し、さらなる個別最適な学びと協働的な学びの充実を図っていく。 ①年齢や生活体験の異なる児童同士の協力により、好ましい人間関係を作る。	①学校評価の「家庭で学習する習慣が身に付いている」の評価結果が前年度よりも向上したか。 ②スタディサプリを活用した基礎学力向上に向けた取組を実践できたか。 ①スタディサプリの活用を研究し、家庭学習やドリル学習を進めることができたか。 ①なかよしタイムの活動を年12回程度できたか。					
2	(現状) ○学校評価の「学校の生活が楽しいと感じている」の質問に肯定的な回答をした児童の割合が95%と高い。 ○昨年度、施設・設備の不具合等が主な原因と考えられる児童の大きな怪我は0件であった。スポーツ振興センターを利用したのは10件であった。 ○教職員も児童も学校の新しい生活様式を意識した教育活動が実践できている。 (課題) ○教職員による施設設備の安全点検を確実に行うだけでなく、児童が自ら危険を予測したり、回避したりする力を育むことが課題である。	・児童一人ひとりへの細やかな教育的支援・相談に向けた校内体制の充実 ・安全な生活の実現に向けた教育活動の充実	①問題行動等に対して、専門職の力を活用しながら組織でよい対応策を共有し、共通理解・共通行動で指導に当たる。 ②児童の悩みや学級内のトラブル等の早期発見・早期対応及び「報連相確認」の確実な実施。 ①安全点検や毎日の校内巡視の中で危険個所の発見・修繕を迅速に行う ②学級活動や委員会活動や学校行事を通して、児童の危険察知能力や安全な行動を心掛け、安全に配慮した環境に整えていく資質を養っていく。	①特に組織の力を活用して対応が必要な事項に対し、ケース会議を実施できたか。 ②問題行動等の事実確認を即日行うことができたか。 ①定期的な安全点検を確実に実施し、対応をその月のうちに実施できたか。 ②委員会活動で安全対策に係る取組を実施し、全校に向けて啓発活動を行えたか。					
3	(現状) ○昨年度、コミュニティスクールの立ち上げ準備を終え、本年度より、目指す学校像に向け、学校、保護者、地域で連携・協働して学校運営を進める。 ○安心メールの確実な登録により、健康安全面の対応や学校行事等の情報提供を迅速に行うことができ、保護者との連携を図ることができた。 (課題) ○コロナ感染拡大防止対策のため、保護者や地域の方々に授業の様子や児童の活動の様子を見ていただく機会をなかなか設けられなかった。	・目指す児童像の実現に向けた学校運営協議会の運営 ・目指す児童の姿を地域、家庭と共有するためのICT活用、教育活動公開	①学校運営協議会を開催し、教育活動の現状を報告するとともに、学校課題の解決に向け、対応策を協議する。 ①コロナ禍における授業参観の在り方を検討し、保護者が学校での様子を直接見ることができるようにする。 ②日頃から学校ホームページに児童の活動の様子をアップし、学校での教育活動の様子を提供していく。 ③関係中学校と、基本的な生活習慣の定着、授業規律の徹底のための取組等について検討する。	①学校運営協議会を年3回開き、教育活動の状況を共有するとともに、課題について検討できたか。 ①授業参観などの教育活動の様子を公開することができたか。実施できない場合には、動画配信等を活用できたか。 ②週3回以上、学校HPを更新し、教育活動の様子を広く共有できたか。 ③小中合同研修会を年3回実施し、検討できたか。					
4	(現状) ○校務用端末を活用した会議の実施等により、ペーパーレス化や業務の効率化を図ることができつつある。 ○効果的なICT活用の実践研修を深めてきたため、タブレットを有効活用した授業が実践できている。 (課題) ○高学年による教科担任制の実施をより効果的に行うための体制づくりを研究していく必要がある。 ○学級減により教職員定数が2減となり、教職員一人ひとりの業務が増えるため、更なる業務の効率化を図ることが課題となる。	・校内研修や授業実践を通じた教師力の向上、及びICT活用による業務の効率化	①教科担任制の実施により、教員の専門性を高めるとともに、授業の質の向上を図る。 ②校務用端末の活用により、業務の効率化を図る。 ③教職員が、業務改善の目標を設定し、達成状況を振り返る。	①年1回の研究授業を全教員が実施し、授業力の向上を図ることができたか。 ②職員会議及び運営委員会をペーパーレス化できたか。 ③個々に設定した目標について、80%以上の教員が目標達成することができたか。					